

令和7年 第1回沼津市観光振興ビジョン改定懇話会 議事録

1. 会議概要

- ・ 日時: 令和7年10月28日(火)14:00~16:00
- ・ 場所: 沼津市役所水道部庁舎1階 会議室B
- ・ 出席者: 日本大学 穴戸氏(委員長)、沼津観光協会 望月氏、旅館ホテル組合連合会 小森氏、バス協会 渡邊氏、東海旅客鉄道株式会社 沼津駅 佐野氏、株式会社TIL 顔氏、戸田観光協会 山本氏、公募委員 田中氏・青木氏 ※土屋委員、峯委員は欠席

2. 主な議題と決定事項

(1) 委員長の選出

穴戸教授が委員長に選出された

(2) 現行ビジョンの振り返り(令和3~7年度)

- ・ 新型コロナの影響で観光客数等の目標は未達成が多い
- ・ 観光客数:令和元年436万人→令和5年366万人(回復傾向も未達)
- ・ ふるさと納税は目標を大幅に超過達成
- ・ KPIの「地域ブランド調査魅力度ランキング」は次期計画から除外
- ・

(3) 次期ビジョンの基本方針

ビジョン目標:「滞在型・体験型への明確な転換」「広域連携によるブランド構築」「DXと多言語対応」「二次交通の充実」「住民参画によるシビックプライド醸成」により、「訪れて楽しく、暮らして誇れるまち」を目指す

ターゲット: 首都圏からの誘客継続、インバウンド(特に台湾・東アジア)獲得、リピーター誘客

4つの柱:

1. 沼津の魅力をアップデート(365日稼働の仕組み化)
2. 沼津の魅力を戦略的発信(多言語・SNS・HP活用)
3. 沼津ならではの観光提供(海越しの富士山、港町文化、深海等)
4. インバウンド誘客推進(東アジア・リピーター獲得)

数値目標:観光交流客数 500万人のほか、地域ブランド調査魅力度ランキングから道の駅くるら戸田の利用者数に変更、プラサヴェルデ利用者数の目標を70万人に修正等

3. 委員からの主な意見・提案

宿泊・受入体制について

- ・ 沼津の宿泊施設不足は週末集中が原因。平日稼働率向上が課題
- ・ インバウンド・スポーツツーリズムで平日誘客を図るべき
- ・ 荷物預かり所等の受入環境整備が不十分

インバウンド戦略について

- 河口湖・箱根に來ている外国人観光客を沼津へ誘導する施策が重要
- 二次交通(河口湖→三島→沼津ルート等)の整備が必要
- 多言語サイトは自動翻訳で意味不明な箇所があり改善必要
- ターゲット層(団体/個人、欧米/アジア等)の明確化と戦略の差別化が必要
- 台湾・高雄市との継続的相互交流の推進

地域資源の活用について

- 西部エリア: 歴史資源、桜・富士山・新幹線の景観、日本酒等の魅力発信
- 中心部エリア: 御用邸のポテンシャル活用不足。滞在時間延長と回遊性向上が課題。港～御用邸間の直通交通整備も検討
- 三浦エリア: ラブライブ! 依存からの自立。海越しの富士山等の自然美・芸術性を活用。地元農産物・1次産業体験の教育旅行化。住民のシビックプライド醸成が重要
- 戸田エリア: 深海魚、納涼船体験、高足ガニ絵付け体験等が好評。欧米系長期滞在客が増加。佐藤雅彦ミュージアム(建設予定)の活用検討

情報発信・プロモーションについて

- ポータルサイトのアクセス解析・効果測定が不十分
- 市と観光協会のサイト統合・連携強化の検討
- SNS等による個人発信の重要性(実例:戸田の納涼船、三浦エリア等)
- ニッチ層への効果的な情報到達が必要

教育旅行・体験型観光について

- 京都の混雑回避で教育旅行の受入れチャンス
- 参加型体験コンテンツの充実がシビックプライド醸成にも寄与
- 三浦での農泊・1次産業体験等の教育プログラム化
- ウェルネスツーリズム、ウェルビーイングをキーワードに

その他の課題・提案

- 水族館3施設(市の特徴)の磨き上げと活用
- 精進料理等の文化体験の提供
- スポーツツーリズム(フェンシング等)の推進
- 夜の観光コンテンツ充実
- 施策の優先順位付けと重点化(現状は項目が多すぎる)
- PDCAサイクルの徹底(毎年の振り返り実施)

推進体制について

- 「誰がやるのか」のリーダーシップ(民間・行政の役割)明確化
- 組織体制の抜本的見直しが必要
- 官民連携・広域連携の強化
- 各ステークホルダーによる定期的な振り返りの実施

4. 委員長総括

- 前回ビジョンとあまり変わっていない印象。観光メニューの羅列に留まっている
- 他自治体では10年計画を3フェーズに分けて実施している例もある
- 計画性とフィードバックをセットで考えるべき
- シビックプライドは観光振興の重要な柱
- 斬新さを求める。次回までに大幅改善を期待

5. 今後のスケジュール

- 第2回懇話会: 12月15日(月)15:30～予定(パブリックコメント用のビジョン案確定)
- パブリックコメント: 約1か月間実施
- 第3回懇話会: 2026年2月25日(水)パブコメ反映後の最終案審議・決定